

# 2.2 千葉地裁をうずめ尽くそう



82.1.29

No.955

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五(六・公衆)四三三二七二〇七

## デッチ上げ「6・12事件」オ3回公判闘争へ

動労千葉のすべての組合員のみなさん。  
動労「本部」革マル反動分子がデッチあげた「6・12事件」の第3回公判が、2月2日十三時より、千葉地裁において開かれます。  
警察権力に告訴し、動労千葉の組織破壊をおこなう動労「本部」革マル反動分子と、その手先となつてコロビ屋を演じる革マル分子・嶋田誠、斉藤吉司らを、法廷内外を圧倒する大動員によつて徹底的に追いつめ、完全勝利をかちとろうではありませんか。

前回公判で、早くも「デッチ上げ」を暴露

第2回公判において権力に守られ、検察側証人として出廷した革マル・斉藤吉司は、「6・12事件」がデッチ上げであるがゆえに矛盾が噴出し、醜態をさらけ出しました。  
すなわち、取調べ検事であった佐々木と合作した「起訴事実」についての尋問で、「起訴された3名は暴力をふるっていない」と「正直」に告白し、佐々木検事が頭をかかえてしまう場面が現出しました。慌てた佐々木検事は、食い違いをなおそうと何度も同じ質問を繰り返し、たまりかねた裁判長から主尋問を途中で打ち切られてしまいました。

革マル弁護士渡辺千古と入念に打ち合わせたはずの斉藤吉司の証言も、しゃべればしゃべる程デッチ上げ性が暴露されてしまい、さんざんな結果となりました。  
また斉藤吉司は「証言」のなかで、告訴した十名を目的意識的に焦点化させています。十名が津田沼支部の中心的役員・活動家であるがゆえに、もつともらしく名前をあげ、「誰々に押された」とか、「パンチを食った」とか、「ひじ打ちを食った」とプレナムアップしたうえで、裁判官に「厳正な処罰を下さい」と要請したのであります。このようなところまで警察労働運動に転落した動労「本部」革マル反動分子を権力の手先といわずして何といおうか。

嶋田誠、斉藤吉司らは、「千葉地本」をデッチ上げたものの、その実態は、職場における労働運動はひとケケラもない幻の「組合」にすぎません。彼等は三五体制に屈服し、その尖兵になり下つた動労「本部」反動分子の手先となつて、第2第3の「6・12事件」デッチ上げをくり返し、動労千葉破壊を目的化する以外に何の存在価値も持ちあわせていないのです。

2月2日10時30分、千葉運転区に集合しよう

第3回公判では、前回の失態を取りもどすために、破れた部分をつぎはぎし、つじつま合わせの作文をし、口裏を合わせてくるでしょう。  
われわれは、不当起訴された3名の仲間を先頭に、権力の手先「動労「本部」革マル反動分子を圧倒する結果を実現し、彼等のデッチ上げ性、反労働者を満天下にあげき出してやろうではありませんか。  
2月2日、十時三十分千葉運転区支部に結集しよう。

\*\*\* 当面するスケジュール \*\*\*

1月30日	退職者激励会	動力車会館	13時
2月1日	関川公判	千葉地裁	13時
2・2	「6・12事件」公判	千葉転	10時30分
2・4	乗務員分科会学習会		
2・5	第2回全国オルグ団総会	動力車会館	13時
2・7	狭山全国集会	日比谷野音	13時
〃	第3回労組活動家懇談会		

### カナメ商事事業案内

- ※ 自動車保険取扱い
    - ※ 団体扱により、一般契約より10%割安になります
  - ※ お茶販売
    - ※ 静岡・菊川農協より直送の各種銘茶
    - ※ 冠婚葬祭用も御相談に応じます
  - ※ のり販売
    - ※ 産地直送、格安品質極上の各種のり
- 申込みは支部又は本部カナメ商事まで  
 鉄電 2935,2936  
 公衆 0472(22)7207